

同 意 書

福島市の胃がん検診で内視鏡検査を受けられる方へ

1 前処置について

胃内視鏡検査では、消化管の蠕動や唾液の分泌を抑制するため、鎮痙薬を使用する場合があります。薬のアレルギーや体調に異常のある方は検査前にお申し出ください。

2 検査方法

口もしくは鼻から内視鏡を挿入し、診断します。検査中に病変が見つかったり、疑わしい場合は、必要に応じ以下の処置を追加する場合があります。

- (1) 病変の一部をつまみ(生検)、組織を採取し、詳しく検査します。ただし、生検が行われる場合は、保険診療として別途請求があります。検査当日は健康保険証を持参してください。
- (2) 色素を散布し、診断の助けとする場合があります。

3 偶発症について

胃内視鏡検診での偶発症が発生する頻度は、全国調査によると、10万件に87件と報告されています。この中には鼻出血などの軽微なものから入院例まで含まれています。

現在、胃内視鏡検診による死亡事故は報告されていませんが、ごく稀に死亡の可能性もあります。

胃内視鏡検診では、以下の偶発症が起きる可能性があります。

- (1) 胃内視鏡により粘膜が傷つくことや、出血、穿孔(穴があくこと)
- (2) 生検により出血、穿孔
- (3) 薬剤によるアレルギー(呼吸困難、血圧低下など)
- (4) 検査前からあった疾患の悪化(症状の出ていなかった疾患も含む)

当施設では、偶発症の防止のために十分な注意を払うとともに、偶発症が発生した場合には最善の対応をいたします。

令和 年 月 日 医師名

上記内容について、説明を受け、理解しましたので、福島市胃がん検診(胃内視鏡検査)の実施に同意いたします。

令和 年 月 日

受診者署名(自署) _____

受診者代理署名 _____ (続柄) ※受診者の署名がある場合は不要